

～JA福井県産大豆の単収アップを目指して！～

FUKUI DAIZU 情報

福大豆

No.2

大豆の播種は、大麦の刈り取りが比較的順調なこともあり、平年並みで播種作業が進んでいる状況です。今後は生育状況を確認しながら、遅れることなく計画的に培土作業を実施し、生育促進と雑草抑制で収量アップ！を目指しましょう。

1. 6月中旬以降の播種について

福井県での大豆の播種時期は、6月上旬～中旬とされています。播種が遅れる場合は、下記の対策を実施しましょう。

① 排水対策の徹底

※播種前の表面：雨水除去

※播種前後の排水溝：溝崩れの手直し

② 播種量を増量：1～2割程度

播種時期が遅れた場合、生育不足で減収する。生育不足を株数で補うために播種量を増やす。

③ 播種深度

播種深度は3cmが基本。播種前後に雨が予想される場合は、やや浅めとします。

※播種後の大豆が露出しないように！

播種後の排水対策

■ 北陸地方の梅雨入りは6/18頃の予定です。速やかに播種作業を実施しましょう！



2. 播種後の各作業時期の目安

天候や圃場状況を確認しながら計画的に培土を行い十分な排水対策を行いましょう！

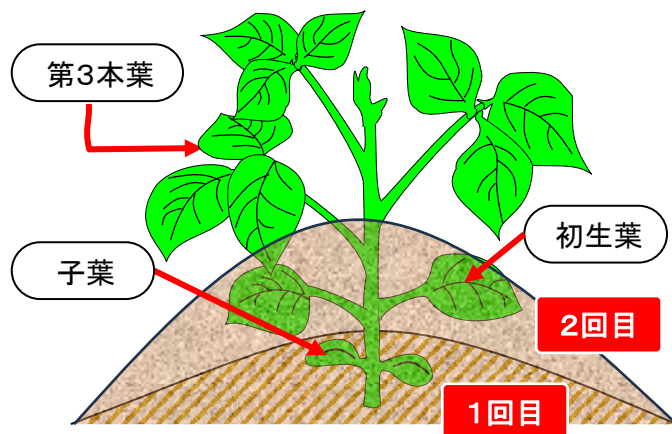


排水対策は梅雨明けまで要注意！

3. 培土作業

中耕培土は天候を確認し、なるべく圃場が乾いた状態で計画的に行いましょう。圃場が乾いた状況で作業すると、土の飛びが良く培土精度が高まります。培土後は必ず、溝のつなぎ・掘り下げにより排水性を維持しましょう。

- 1回目・・・本葉3～4葉期(6月下旬頃～)
子葉が隠れるまでしっかり株元まで寄せ、山型になるように土をかける。
- 2回目・・・本葉5～6葉期(7月上旬頃～)
初生葉が隠れる高さまで。



4. 帰化アサガオ対策

畦畔を確認し、帰化アサガオ類が発生していたら圃場侵入前に草刈りを実施！
県下一斉の畦畔草刈り実践デー(1回目:6月20、21日 2回目:7月4、5日)